

あたたかいたべものの本とくしゅう

寒さが日々増してきます。あたたかいたべものの本を読んで、心もあたたまってください。

『おでんのおうさま』

山本 祐司 作

がんも、だいこん、ごぼうてん…。おでんだねたちが、「おれがおうさまだ!」「わたしがおうさまだ!」と、騒ぎ出しました。

さあ、だれがおでんのおうさまなのでしょう?

(TRCMARK より抜粋)



ほるぶ出版

『からすのそば屋さん』

かこ さとし さく、え

いずみがもりの「からすのぱんやさん」のオモチくんは、あるひ、そばをそだてているハッサクおじさんをたずねました。おじさんからそばづくりをおそわったオモチくんは、おじさんのむすめのイソちゃんとおそばやさんをつくるじゅんびをはじめ…。

(TRCMARK より抜粋)



偕成社

『アッチとボンの いないいないグラタン』

かどの えいこ さく 佐々木 洋子 え

アッチはレストランひばりのコックさん。でも、このごろちょっとへんなのです。お料理するのがつまらなくなってしまったのです。あとをまかされてしまったボンが、お料理をすることになるのですが…。



ポプラ社

『コロッケくんのぼうけん』

にのみや ゆきこ さく あべ 弘士 え

「海の男」にふさわしいカニクリームコロッケとして生きようと決心をしたコロッケくん。パイナップルの缶詰の空き缶と、はみがきコップといっしょに冒険の旅に出発です。

(TRCMARK より抜粋)



偕成社

～みんなで見にいこうよう

こうよう いろ 紅葉、なぜ色がかわるの？～

あき 秋に、は 葉が あか 赤くなるのはなぜでしょうか？

モミジのように、うすくてさむさに弱い葉をつける木は、秋には葉を落とすために、葉とえだのあいだに、かべのようなものをつくります。すると、葉でつくられたえいよう分が、えだにいかないで、葉の中にたまっていきます。

このえいよう分は、葉にたまると、赤い色のもとになり、いっぽう、もともと葉の中にあつた、みどり色のもととはへっていくので、葉は赤くなるのです。また、葉が黄色くなるのは、赤い色のもととはつくられないで、もともとあつた黄色い色のもとがめだつようになるからです。

花のたね・木の実のちえ③ モミジのつばさ 監修 多田多恵子 偕成社 より



『花のたね・木の実のちえ③
モミジのつばさ』
監修 多田多恵子
偕成社



『ひろって調べる
落ち葉のすかん』
安田守 写真、文
中川重年 監修
岩崎書店



『せんせい！これなあに？』
構成、文 有沢重雄
写真 亀田龍吉
偕成社

おちばやどんぐり、まつぼっくりで

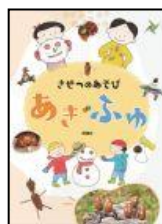
つくってみよう!!



いかだ社

『どんぐり木の実工作図鑑
②つくってかざる工作』
岩藤 しいい

どんぐりをつかって、人形やかざりをつくります。



理論社

『きせつのあそび あき・ふゆ』
グループ・コロンブス 編著

はっぱあそびやおもちゃづくりのアイデアがたくさんでできます。